

## 保健医療関係者、団体、企業、マスコミ等(予防検診部会委員)による啓発活動等の取組紹介

※「」内は委員コメント

岩成部会長	【市民公開講座】「いっしょに考えましょう がん医療」～がん診療でみんなができること～ 出雲市から子宮頸がんが消える～HPV併用検診6年の実績～講演 「島根大学と県立中央病院が連携実施できたことは画期的」
湯原委員	【島根県医師会】がん征圧月間新聞広告を実施 「松江市では胃カメラ検診を実施中。特定健診と大腸がん・肺がん検診の同時実施を呼びかけて受診者を増やしていく。」
大賀委員	【浜田市】がん検診の無料化、地区組織や金融機関と連携した啓発、健康ポイント特典サービス事業等、受診率向上の取組を実施 「がん検診無料化しているが受診率は高くないため、無料の周知が必要。検診受診勧奨には“もう一押し”の取組が大事。色々な人と繋がって取り組んでいくことが必要。」
青山委員	【環境保健公社】がん検診受託機関に加え、(1)広報活動「公社だより」(2)募金活動(3)がん征圧月間街頭キャンペーン・イベントを実施 「公民館職員と公社職員、市保健師と一緒に街宣車でがん検診受診を呼びかける広報を実施。人の集まる場所や駐車場のある場所などに声かけしている。」
梅木委員	【協会けんぽ】働き盛り者のがん検診受診を勧める取組を実施 (1)職域検診(協会けんぽ実施分)～被保険者に対する一般健診に子宮がん・乳がん検診を加えて実施 (2)地域検診(市町村実施分)～事業主及び加入者へ市町村検診の受診促進に向けた情報を発信(健康保険委員向け)
小泉委員	【あけぼの会(乳がん患者会)】母の日キャンペーンや、がん検診会場等での自己検診指導を実施 「がん検診時に自己検診の普及ができるようになり良かった。受診率が上がっていないのが残念。どうすれば乳がん検診受診者数が増えるかが課題。」
小林委員	【雲南市がん検診すすめ隊】市民活動グループを結成し、がん予防の大切さや検診受診を呼びかける“ふれ愛カフェ”を開催する等、草の根的な啓発活動を実施 「年間使用可能なポスターを作成し色々な場所に掲示している。若い男性にもがん検診受診を呼びかけている。」
宮本委員	【島根県食生活改善推進協議会】食育推進や食生活改善活動を通じたがん予防や浜田市と連携したがん検診受診勧奨を実施 「市と連携して大腸がん、乳がん、子宮がんの検診受診勧奨を実施。大腸がん受診率が30%アップした。県東部地域にも取組を広げたい。」
村上委員	【ウェルネス】ヘルス&ビューティフェスタ(メッセ)のイベントと店舗を使ったピンクリボンキャンペーンを実施 「来客の8割が女性で、うち8割が20～50歳代。クイズでお買い物券プレゼントや募金、マンモ模型で触診体験等も実施。コストやスケジュール等を踏まえて、媒体、店舗、駐車場などを活用した取組は可能。」
桃井委員	【アフラック】がんの予防から検査、治療まで体験等を通じて知るイベント「がんを知る展」を松江市にて実施(5/24～26)。来場者1140人。その他、冊子「がん検診のススメ」等を県が実施するイベント時に提供。
柳楽委員	【がん検診啓発サポーター】自身のがん体験談の講話を通じてがん予防や検診受診等の重要性の啓発を実施 県内各地に出かけてがんの体験談を話し、がん予防の大切さを訴えている。
小海委員	【島根県細胞検査士会】子宮頸がん検診普及啓発キャンペーン～子宮を愛そうLOVE49～を松江、出雲、浜田で実施。 「予防検診部会員となる等により関係者とのつながりが広がり、幅広い連携での啓発ができて嬉しい。これからも一緒に活動していきたい。」
渡部委員 (欠席のため 事務局紹介)	【山陰中央新報社】「がん検診率向上キャンペーン」として平成25年9月～平成26年8月までの1年間、毎月1日に新聞による広報を実施。生活応援情報誌「りびえーる」でも女性のがんの特集を組む等、紙面による啓発を実施。
事務局紹介	【子宮頸がん啓発キャンペーン実行委員会】島根大学及び島根県立大学の学生が子宮頸がん啓発活動を実施(いなたひめプロジェクト)。